



ごあいさつ



林 文子

横浜市長
(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー会長

横浜の開港を祝う、初夏の風物詩として市民の皆様に親しまれております「横浜開港祭」は、今年で34回目を迎えます。毎年、市民の皆様をはじめ、地元企業、団体の皆様の多大な御支援、御協力により、開港の地である横浜にふさわしい一大イベントとなりましたことを心より感謝申し上げます。

“Thanks to the Port”「市民が創り上げた国際港都 みんなで祝おう誕生祭」をテーマに、市民が世代を超えて港の夜空に奏でる大合唱や、横浜の港を光と音と花火で彩る“ビームスペクタクル in ハーバー”など、魅力あふれる市民参画型の催しが数多く開催され、多くの人で賑わいます。

今年も、国際港都として歴史をもつ、本市ならではの「横浜開港祭」をより多くの方に知っていただき、ご参加いただけるよう盛り上げてまいります。皆様のなお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



稲葉 崇浩

第34回横浜開港祭協議会 会長
一般社団法人横浜青年会議所 第64代理事長

毎年多くの御来場を頂いている横浜開港祭はお陰様で本年 34 回目を迎えます。御支援・ご協力を頂いているすべての関係者様へこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

第 34 回 “Thanks to the Port” 「市民が創り上げた国際港都 みんなで祝おう誕生祭」をテーマに開催し、私達のまち「横浜」の原点である港の誕生日を市民の皆様と一体になりお祝いしたいと思います。私達はこの横浜開港祭を通じ、文明開化の幕開けとなった横浜開港という歴史や先人達の功績を次世代の子どもたちをはじめとした多くの市民の皆様へしっかりと伝えていきます。

本年の開催日は、5月30日(土)、5月31日(日)、6月2日(火)の開催とさせて頂きますが、この横浜開港祭を通じ、横浜開港記念日である「6月2日」という日の持つ意味を横浜市内外へ広く発信し、このお祭りが横浜市民にとって誇りある市民祭となる様、そして私達のまち全体が活気に満ちあふれ、更なる発展に繋がる原動力となるべく創り上げて参ります。

今年も皆様の深いご理解とより一層の御支援、御協力を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。